

# 寺報

龍正寺

日なた 103号

日蓮大聖人御遺文

四條金吾殿御返事

八のかけに

をかきぬを

賢人と申すなり

日延書写

<平成28年 12月>

宝龍会  
護持会

# 報恩お会式会他 開催しました



みんなで結縁

みんなで笑顔



ご加持を受けます



五色の紐に思いを込めて握ります



日蓮大聖人との結縁に  
にっこりと



みんなで茶話会です



# 金華山お題目塚供養に 参加させて頂きました



岐阜城近くにあるお題目塚



岐阜城の下にある  
もみじ。見頃でした。



ご祈祷の様子。緊張感がありました。



お焼香の様子です



参加された方々の様子



傍島岐阜県宗務所長の挨拶



堀上人の挨拶

- 位 職 一 言 - 「日蓮大聖人御遺文」より -

平成28年師走を迎え、皆様方益々お元氣の事と思ひます。

日蓮大聖人御遺文「四糸金吾殿御返事」  
「八のかせに

をかされぬを

賢人と申すなり」

と説かれておられます。

人の心を動揺させるものに、利(うるおひ)・衰(おとろえ)  
・毀(やぶれ)・誉(ほまれ)・称(たたえ)・譏(とこり)・樂(たのしみ)。

の八つがあり、それを風に譬えられておられます。  
これらの風が吹いても、平常心を保てる人間の事を賢人と呼ぶ、賢人はどんな時でも、人として  
謹み深く、他者を敬うことのできる美しい心の持ち主  
のことです。

諸天善神はこのような人の心に住まわれ、その人を  
守護し正しく導いて下さいます。

日蓮大聖人はお教えなされておられます。

私たちの周りには、色々な事があると思いますが、  
八の風に惑わされることなく美しい心を持ち、正しい  
気持ちで お題目を唱えれば、必ず「良い方」に向って  
いけると思っています。

新しい良い年をお迎えになる事を祈り申し  
上げます。

1年間 寺報 日なたに 御協力下さいました方々に  
深く感謝申し上げます。また来年もよろしくお願  
い申し上げます。また寺報 日なた 並に ホームページ  
等、御講読下さいました方々にも深く感謝い  
たします。何かのお役にたてば幸いです。  
来年もよろしくお願ひ申し上げます。

合 掌

南無妙法蓮華經

# 「淡々と」

「何だ、そんな事か」とある テレビの一番面です。  
落ち込んでいる主人公に友人が言った一言です。  
「もっと、大きな事だと思ったわ」

場面は終戦直後、戦場から夫が戻り、  
子供が夫になつかないと、話をしている仕事仲間の  
女性の言葉を主人公が聞いて、落ち込んでいる  
所に友人が声をかけ話を聞いているところでした。

主人公は夫の両親より息子は戦死しているかもし  
れない、未来を見つめ、別れた方が良くと言われ  
どうしたら良いか迷っている。

「はい、そうですが」とは簡単には諦めるものでも  
なく、悩んでいる事を友人に聞いてもらっている。

その後の友人の言葉は、「淡々としてたらええ」  
でした。主人公も、気持ちを切り替えようと必死  
になっているが、やはり気持ちは、そう簡単には  
切り替えることが出来ないという場面でした。

仏様から伝えられたと思いました。

それまで、いろいろ悩んで、信じている意味、仕事をしている意味が見いだせない時でしたので、何をグチグチ考えていたのだろうかと思ったのでした。

淡々と生きるということとは、何事にも振りまわされなくて、平常心で生きるということ。

自分に言い聞かせています。

いろんな問題も淡々とこなす、未来を見つめ、進むには物事を淡々とこなし、思いに巻き込まれず、目の前にある事をこなしに行く事が大事であると言われているようでした。

仏教では「じぎょう自行じた他」という言葉があります。

自行じぎょう他 = 行動じたすること。

言葉、文章にすることは簡単ですが、有言実行することとはとても難しいことです、少しでも気持ちを切り替え、淡々と日々、過ぎせるよう努力していきたいと思っています。

## ～ 泥水を湧き水へ ～

平成二十八年もあと1ヶ月となりました。

今年も色々な出来事がありました。特にフィリピン・アメリカ、韓国など国のトップに立つ人の人間性を問う出来事が多くありました。

そのようなニュースを見るたびに、不安を感じずにはいられない一年でした。

しかし、希望・勇気をもてる事もありました。

それはNHKの朝のドラマで「世の中には泥水を飲まないといけない時がある。でも自分の考え方によって、その泥水を湧き水にする事ができる。」「理不尽な事をどのようにして釘刺していくか、どのように解決していくかで打開策が出来てくる。」という言葉でした。

この言葉に深い感銘を受けました。

ではどのように実践できるようになるか…。

皆様は御存知です。そうです!! 法華経のお教えこそが、この言葉を実践し幸せに近づける事が出来ると思います。



言葉と理解しようとしても、自分の敵との戦いになり、なかなか受け入れる事よりも、他人のせいにしたたり、逃げたいという気持ちになります。実行に務める事は難しい事です。ましてや心の中に入れ、人間力の向上を図る事はもっと難しい事です。

心が折れてしまいそうな時、思う様に向上していけなくなった時、法華経のお教え、七つの喩えがあります。

喩えを今の自分自身の状況におきかえてみて下さい。

きっと何か気がつきが頂けると思います。

世の中には理不尽な事が多い、その理不尽の中をどう生きていくかで幸せの感じ方は違ってきます。

今の自然、社会状況は決して明るい方向へ進んでいるようには思えません。しかしその状況の中でも、私達の考え方だけで明るく幸せになれます。どのような状況であっても、自分自身が常に平常心を保てるように精心していきましょう。

日蓮大聖人の御世の末法の世であり、御題目を唱えている私達は必ず守護して頂けます。そして、幸せにならしましょう。

今年も一年間、寺報「日なた」と愛読して頂きありがとうございます。

来年も「日なた」をよろしく願います。

〈寺報「日なた」は皆様の御参加をお待ちしています!〉

# —— 当たり前を作る仕事 ——

今年もあと1ヶ月を切りましたね。本当に1年が短かく感じています。

先日、あるテレビ番組で「当たり前を作る仕事」というお話を見ました。昼間、子ども達が元気に遊ぶ公園は、人の少ない時間に、安全に遊べる様、遊具の点検をしてくれている人がいる。スイッチを入れれば明るく照らしてくれる電気も、高所作業で大変な思いをしながら、電線のチェックや、ある時は鳥の巣の撤去、皆が当たり前で電気を使える様、守ってくれている人がいる…。自分のやっている事が、たとえ表舞台になくても、実は一番大切な部分なんじゃないかと思えてなりませんでした。

私達主婦もそうなんです。家族が1日、元気に過ごせるよう朝ごはんを作ったり、気持ち良く過ごせるよう洗たく、清掃をしたり、1日の疲れが取れる様、お風呂の準備

をしてにり…。家族が当たり前前に過ごせる様、  
毎日頑張っています。そして、皆の笑顔や、嬉しい  
出来事がごほうびとして戻ってくるような気がします。  
毎日の事で、これも当たり前前にならなっていたので  
この番組のおかげで再認識することができました。

「当たり前」という言葉を、昔は簡単に使って  
いました。でも、龍正寺とのご縁を頂いてから、  
「当たり前」は私の中で「お陰様」に変わって  
いきました。こうしてこの「日なだ」を書かせて頂  
くことが出来るのも、ええな体とこの時間を  
頂けているから…。と思えるふうにならな  
す。でも慣れてくるとつい、そこまで考えること  
がなくならなすね。今年最後の日なだ  
で、大切な事に気がかせて頂くことができ、  
感謝しています。小さな事にもありがた  
うの気持ちを忘れず、来年も精進していきな  
す。1年間日なだをご覧頂き、ありがた  
うございました!! 良なお年をお迎え下  
さい。

何か いいこと ♪~

今年も残り わおかになりました。

一年あつという間に感じるけれど、振り返ってみると色々な事が  
ありました。

自分にとってこの一年で大きく変化したのは、家族です。

春から息子の一人暮らしが始まり、夏からは娘が留学で  
海外へ出発しました。

今、家には夫婦二人です。

子どもを送り出したが、子どもがいなくなって気づく事、  
夫婦二人になって考える事、自分自身のこれからについて  
考えるようになりました。人生の節目というのでしょうか？

それでもやっぱり一番は離れて暮らす子どもの事を  
思う気持ちがいっぱいありました。

自宅でもお寺でも手を合わせて子どもの身体健全と  
無事を祈りながら、ちょっと遠い所に居ますか

どうかよろしくお願ひします。祈りよ、届け〜と祈ります。

週末等には携帯電話のSkypeのお陰で娘の顔を見ながら  
長電話をします。顔が見られると嬉しいし、安心  
できます。話の中で娘がたくさんの人に助けていただいで  
いる事を知りました。見ず知らずの外国人である娘に  
親切にした下さる方がたくさんいらっしゃる事がとても  
嬉しいし、何の見返りがあるわけでもないのに助けて  
下さる方がいらっしゃる事に本当に感激しています。

私も帰んで行って「ありがとうございます。お世話に  
なっています。どうかよろしくお願ひします」なんて



ご挨拶したい所ですが、出来ません。なんとか感謝の  
気持ちを届けたいな、と考えていた時 脳裏に浮かんだ  
「何かいいこと」映画「サウンド・オブ・ミュージック」中の歌です。

私は多分 悪い子だったわね  
みじめな青春 だったかもしれない  
でも そんな さえない 過去のどこかに  
真実の瞬間があったはず  
何故って あなたが 現れて  
義理ではなく 本当に 私を愛して下さるのだから  
きっと さえない 過去のどこかで  
何か いいことをしたはずね  
無からは何も 生まれない  
生まれるわけがないのだから  
そんな さえない 過去のどこかで  
何か いいことをしたんだわ

この歌は主人公マリアと大佐の愛の告白のシーンで歌われて  
いるもので状況的には合っていないが

「何かいいこと」が直接的ではなく 何か別の「何かいいこと」  
に結びついているのかな、と感ぜられる所に魅力を感じます。  
遠く離れている子どもたちや、一緒に住んでいないけれど大切な  
父や母に直接何か出来ない時でも 私が今、出来る場所  
で、ほんの小さな いいことをしたら、ひょっとして何か別の  
いいことのきっかけになるかもしれない？ と考えたら 少し心が  
明るくなりました。自分には大した事は何も出来ないけれど  
誰かの助けになれば、いいことが出来る人間に  
なれるよう 努力します。

## <12月行事予定>

- |          |              |                                |
|----------|--------------|--------------------------------|
| 12月4日(日) | 9:00~<br>終了後 | 大掃除、ワックスかけ<br>役員会              |
| 13日(火)   | 10:00~       | 宗祖日蓮聖人報恩会<br>釋尊成道会<br>大古久尊天祈願会 |
| 18日(日)   | 10:00~       | 鬼子母尊神<br>七面大明神 ) 祈禱会           |
| 31日(土)   | 23:45~       | 年越し読誦会                         |

## <住職の予定>

- |          |           |
|----------|-----------|
| 12月5日(月) | 協議員会(宗務所) |
|----------|-----------|

## <12月の予定>

- |          |        |        |
|----------|--------|--------|
| 12月6日(火) | 各々の時間で | 清掃、準備  |
| ↓        | ↓      | ↓      |
| 12日(月)   | ↓      | ↓      |
| 13日(火)   | 法要後    | 片付け、準備 |
| 14日(水)   | 各々の時間で | 清掃、準備  |
| ↓        | ↓      | ↓      |
| 17日(土)   | ↓      | ↓      |
| 18日(日)   | 法要後    | 片付け、準備 |
| 19日(月)   | 各々の時間で | 清掃、準備  |
| ↓        | ↓      | ↓      |
| 28日(水)   | ↓      | ↓      |
| 30日(金)   | 10:00~ | 飾り付け   |